

地方独立行政法人東京都立産業技術センター令和元年度業務実績に係る 評価委員会の意見について

- 1 令和元年度における地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（以下「都産技研」という。）の業務の状況は、「業務全体が優れた進捗状況」であると認められる。評価の決定に際しては、次の点について留意されたい。
 - ・ プラスチック代替製品の開発等、SDGsに資する施策に引き続き取り組むことが期待される。
 - ・ 外部資金導入研究の採択数増加など、都産技研職員の研究開発力は向上していることが認められ、引き続き外部資金獲得を目指すことが望まれる。
 - ・ ポストコロナ社会におけるロボット等の非接触技術の重要性が増すことが予想されることから、一層取組を推進することが期待される。
 - ・ 3D造形技術の分野は、技術進歩が急速であり、今後も技術研究レベルの向上等に注力すべきである。
- 2 第三期中期目標及び中期計画の達成並びに第四期中期目標への事業展開に向けては、都産技研が次の取組を推進することを期待する。
 - ・ 新型コロナウイルス感染症拡大等の状況を踏まえ、支援のデジタル化・オンライン化を一層進めていくことが望まれる。